

LPGのガスタンク17.5トンの地下タンクが2基埋設してあるが、今年の10月1日より都市ガス（天然ガス）の一部使用を始めたため、この使用設備も整備した。

※RT：冷凍能力を表す単位。1RT=3,024kcal/h=3.52kW

## ②系統連携

事故やオーバーホールなどに備えて、中部電力との補完供給契約（バックアップの契約）も行っており、電気の売買に関する精算は毎月行っている。

常時系統連携していることから、大規模な中部電力側の電圧や周波数の変動の影響を受けることもありうる。例えば、諏訪は山に囲まれているので送電線への落雷などもしばしばあり、停電や瞬停などの影響を受けることもある。しかし、病院では停電や瞬停も大問題である。そのため、天候（雷雲の流れ）なども独自に補足しながら、必要に応じて系統を外して、独立で運用することも行っている。なお、これまでに中部電力が停電し、街中の信号などが機能しない中で、病院や老人保健施設への電力供給を行っていたこともあり、需要者からの高い信頼を得ている。



電力会社とは基本的に常時系統連携されている

## （6）使用する燃料

これまでは、LPGのみを使用して事業を展開してきたが、今年の10月から同社が都市ガス（天然ガス）への切り替えを行っている。現在、両方のガスを使用している。

これまでの実績であるが、毎日10トンのLPGを消費していたので、毎日タンクローリーでガスの供給を受けてきた。

10月に使用された天然ガスの量は、月に30万 $\text{m}^3$ であった。

なお、各地で地震が続いており被災時の独立性を担保していくことの重要性も認識させていることから、LPGと都市ガスの両方に対応できるシステムを維持していく方向で検討している。

## （7）今後の展望

黒字を保ってきたが、直近2年は赤字経営に転落している。赤字転落は中部電力の電